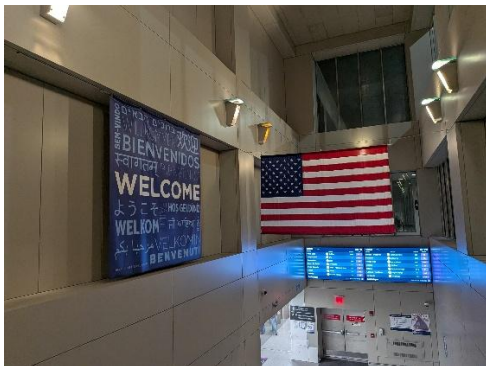


留学だより vol. 1

皆さん、こんにちは。18期の今枝（いまえだ）と申します。まず、この留学だよりを見てくださりありがとうございます。いやはや、時の流れというのは早いもので、アメリカ（ボストン）に来てからすでに一か月が経ちました。…ということで最初の留学だよりです。ぜひお楽しみください。

出発

8月21日に日本からボストンへ出発しました。成田空港からボストンへの直通便を利用したのですが、当日に1時間半の遅延が発生。時間をつぶした後なんとか日本を出発し、14時間のフライトを経てボストンへ到着しました。ちなみに日本を出発する直前の食事は寿司とたこ焼き、見事なまでの日本食ですね。なお、この時、人生で初めてウニの寿司を食べました。さて、フライトを終え、ボストンに到着したのが現地時間で夜8時。そこから入国審査、ホテルへ移動、夕食を経て深夜1時ごろ就寝しました。ちなみにホテルの部屋がとても広いのが印象に残りました。アメリカンサイズってこういうことなのですかね。



↑ボストンの空港（左）とオリエンテーションで宿泊したホテル（右）

翌日からは2日間オリエンテーションを私の留学プログラムである“次世代リーダー育成道場”と現地受け入れ機関の“ICES”のスタッフの皆さまと行いました。アメリカの基本的な文化を学習したほか、町へ出て外食しました。その時に食べたピザがこれまたおいしかったです。サイズ感や味付けの仕方が日本と異なっていてアメリカならではの良さがありました。

そんなこんなで2日間のオリエンテーションを終え、オリエンテーション2日目の15時についにホストファミリーと対面。その後は、ホストファミリーの家でホームステイをしながらホストスクールへ通う生活を現在に至るまで送っています。



上記で述べたピザです。紙皿は日本のものより2まわりほど大きいのでピザの大きさがわかると思います。1/6サイズなのも特徴的です。価格は1切れで\$4~5、二切れだと\$7~8でした。一切れでお腹いっぱいになるくらいボリュームでした。

ホストファミリー

私の家は5人家族で、ホストマザー、ホストファザー、そして12歳と5歳のふたりのホストブラザーと一緒に生活しています。ホストマザーとファザーが香港出身の方々なので、家が出る食事が日本と似ていて、とてもおいしいです。まさかアメリカにて毎日白米を食べることになるとは思いもしませんでした。そんな比較的カルチャーショックの少ない環境ですが、ファミリーはとても良い人達です。みんなで旅行をしたり一緒にボードゲームをしたりテレビを見たりと毎日楽しく笑顔で過ごしています。せっかくなので家の紹介も。我が家は一軒家ですが、やはりアメリカの家はサイズが大きいです。家族の部屋に基本のLDK、倉庫と広い庭に地下室があるとはじめて言われたときは衝撃でした。自分の部屋には勉強机と椅子、ベッドを基本として、棚、クローゼット、その他小物があります。十分なスペースとシンプル構造が自分の好みに合っていてとても素敵な部屋です。

ホストスクール

現在学校では英語、アメリカ史、神学、微積分、化学、デジタルアート、留学生向けの英語授業という7教科を学習しています。日本の学校のような曜日ごとの時間割ではなく、曜日に関係なく「登校日7日間」で時間割が1周するローテーション制（1日6コマ）を採用しているのが大きな特徴です。前述した7教科のうち毎日どれか1教科学習しないものがあると思ってください。この理由をホストファミリーに聞いてみたところ、アメリカでは月曜日に祝日が多く、曜日ごとのスケジュールでは月曜日の教科の学習時間が足りなくなるからと言われました。なかなか面白いですね。

時間	教科
7:50~8:38(Block1)	デジタルアート
8:43~9:28(Block 2)	微積分
9:33~10:18(Block 3)	アメリカ史
10:23~11:03 (Bishops Block)	ホームルーム
11:06~12:43(Block 4)	留学生向け英語
12:47~13:32(Block 5)	神学
13:37~14:22(Block 6)	化学

ある日のスケジュールです。1授業45分であることは日本とは変わらないですが、移動時間が短く最初は大変でした。

ホストスクール名は「Archbishop Williams High School」略して AWHs です。私立のカトリックスクールで全校生徒数は 700 人以上と案外小規模の学校です。小石川と同様中高一貫校で中 1（Grade 7）から高 3（Grade 12）の 6 学年の生徒がいます。小石川と異なる点としては、AWHS は中学校が 2 年間、高校が 4 年間である点です。校内の敷地は広く日本の大学のようなキャンパス形式に近いです。教室移動では建物間の移動もあるので結構大変です。

授業については小石川と変わらず 45 分授業だったのが非常にありがたかったです。オールイングリッシュの環境にも少しずつ慣れてきたように感じます。特徴的なのが Bishops Block という時間。中休みのようなもので自分の教室で宿題をしたり簡単な部活動ができたりします。4 時間目の時間が長いのは昼食の時間が含まれるからです。…と学校は明るく楽しく通うことができます！自分の興味のある授業がたくさんあるため大変でも頑張っています。これからも学校については留学だよりを通してお話しできたらと思います。ただ、朝早くに始業するため日本よりも早く起きなければならないのが大変ですね…ちなみに私はバスで登校しています（35 分）。



学校の校舎の様子です。小石川のような形状ではなく、一般的な横に長い形の校舎になっています。地上 3 階、地下 1 階で、1 階から 3 回は主に授業用の教室。0 階（地下）は先生達のオフィスとカフェテリア、スクールジムなどがあります。

思い出

この 1 か月であった最高の思い出を紹介します。

それはニューヨーク旅行。実はボストンに到着してからホストスクールへ行くまでに 2 週間ほど猶予があり（夏休みの延長ですね）、その間ホストファミリーと一緒にニューヨークへ行きました。観光スポットとしてはタイムズスクエアと「自由の女神」に行き、どちらも日本にはない熱狂的な雰囲気が印象的でした。特に、タイムズスクエアは夜に行ったことも相まって人混みがすごかったです。そしてニューヨークの建物は縦にも横にもとにかく大きい！空を見上げると視界の半分はビルでした。今回の留学での夢の一つがニューヨーク観光だったのですがまさかこんなに早く叶うとは…自分でもびっくりです。タイムズスクエアのショップでお土産を沢山買ったのが楽しかったです。日本のお土産とは趣向が異なるのが印象的でした。兎にも角にもニューヨ

ークは素敵な都市でした。東京とは異なるアメリカらしい雰囲気が良かったです。
皆さんも将来機会があれば行ってみてください。是非ボストンにも、、、



ニューヨークのシンボル！「自由の女神」です。今回船に乗って自由の女神がある島（Liberty Island）まで移動し、その島で観光をしました。自由の女神は写真の通り大迫力で物々しい雰囲気がありました。ちなみに自由の女神が立っている台座の部分にも内部から入ることができ、そこにも立ち寄りました。高所から見下ろす島の眺めが綺麗だったのを覚えています。ちなみに直接は見えませんが自由の女神は足で鎖を踏みつけています。これは奴隷制からの解放等の意味が込められていると島内の博物館で知りました。まさに自由の象徴ですね。
なお、お土産屋さんにてニューヨークのポスターを購入しました。現在、部屋に貼られています。



↑ 自宅です。ホストファミリーみんなで楽しく過ごしています。

最後になりますが、ここまで読んでいただきありがとうございました。

もしよろしければ、次回も読んでいただけると幸いです。

それでは！次の留学日よりでお会いしましょう！